

共済団体様

次期業務・システムの

基本構想策定支援 コンサルティング

支援期間



8 カ月

支援体制



4 人

クライアントの課題・背景

システム偏重で進む刷新計画の課題

顧客である共済団体様の基幹システムは、開発後十数年が過ぎており、プログラムの肥大化・複雑化に係る問題や保守切れの期限も迫っていたことから、システム刷新計画を進められていた。

しかし、「システム」視点に偏りを持った進め方となっており、「業務」視点での課題の整理や深掘りには至っていない点に悩みを持っていた。



ご支援の概要

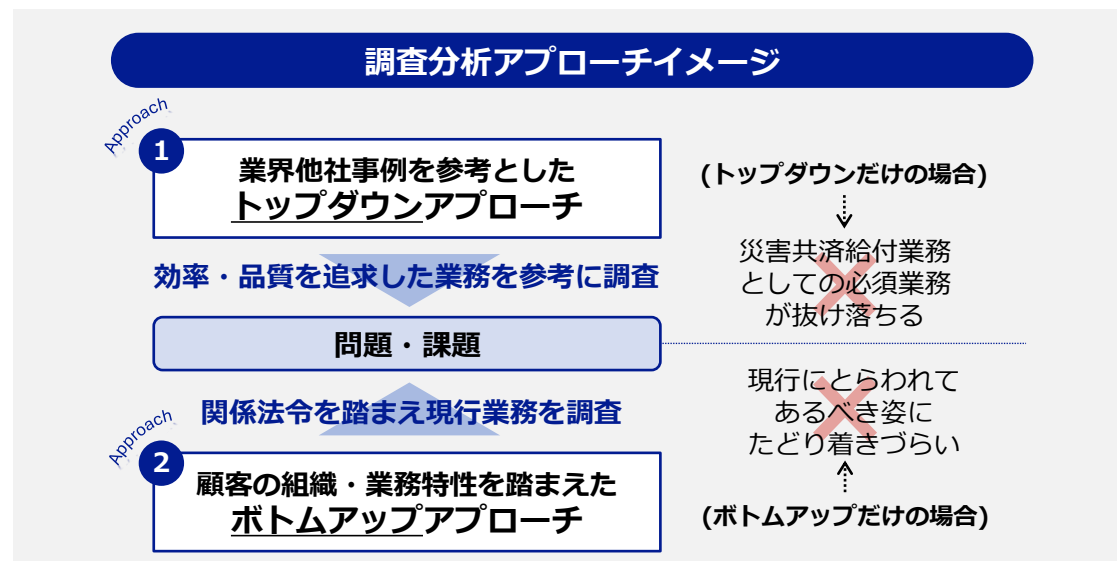
業務視点を加えた刷新構想の策定

多くのシステム刷新計画に携わってきた当社の経験を踏まえ、当社にて「業務」視点での課題の整理・施策の検討を実施し、これを踏まえて、システムのあるべき姿を提言。

顧客が進められていたシステム刷新計画との整合性を図りつつ、業務・システムの両面から考慮された「次期業務・システム基本構想」を策定。

1 現行業務の調査・分析

- 現行業務の全体像や組織を把握するため、調査にあたっての軸や優先度を定め、ドキュメント調査およびプロジェクトオーナーや業務担当者の声を収集して調査。
- 組織、事業経費の配賦状況、業務の流れや業務負荷の状況等、現行業務を定量的・定性的に見える化。



2 問題分析・課題整理

- 業界他社事例からのトップダウンアプローチ、お客様の組織・業務特性を踏まえたボトムアップアプローチの両面から分析を実施。
- 調査分析においては、当社のこれまでの経験・実績を踏まえた、業務領域別の調査分析の切り口を活用し、現状の問題点とその原因、課題を整理。



Point

- 共済業務の知見を有する当社が、全方位的な調査・分析方法ではなく、どこに課題があるのかを仮説立て、その妥当性を確認するための調査・分析アプローチを採ることで、真に重要な課題にフォーカスして効率的に検討を実施。
- 業界他社の一般事例に単に倣うのではなく、顧客の組織や業務特性も踏まえながら、個社最適化した業務・システムの課題を整理。

1 施策の検討と優先度評価の実施

- 課題の評価を実施し、優先度の高い課題に対して施策を検討。
- 各施策に対して、本プロジェクトの目的に対する貢献度の高さ、制約やシステム投資の規模感を踏まえた実行の難易度を見定め、施策の優先度評価を実施。

2 あるべき姿と改善計画の策定

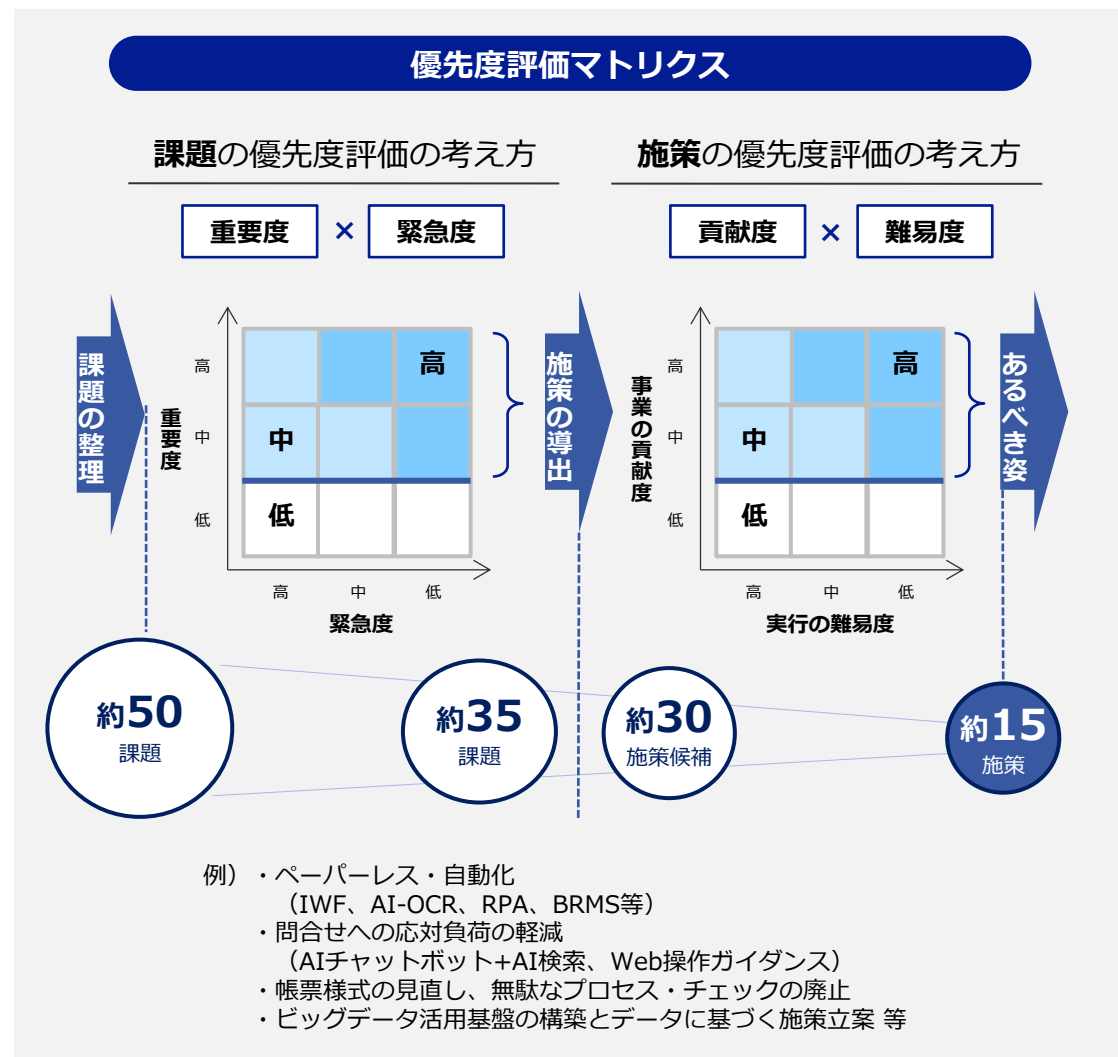
- 決定した施策を踏まえ、業務・システムのあるべき姿（全体像）のほか、将来の業務を支える組織・体制の将来イメージも併せて整理。
- 各施策の優先度を踏まえてロードマップ案を作成し、短期・中長期視点での改善計画を策定。

3 次期業務・システム基本構想の策定

- システム刷新の目的・目標や、次期システムにおける刷新内容（刷新イメージ、施策概要、効果等）、スケジュール等を次期業務・システム基本構想書として整理。

Point

- 経営判断が必要な施策については、当社の経営層への提案・提言ノウハウを活用し、顧客事業の位置づけや求められる将来像を考慮のうえ、具体的な評価軸をすり合わせ、経営に資する最適な施策を検討・選定。
- 加えて、プロジェクト現場のマネジメント経験も豊富な当社が、クイック施策も計画に盛り込むことで、改革に向けてのメンバーのモチベーションを向上。



01

ビジネスにとって効果のある施策の検討等、プロジェクトオーナーとの対話を通して「経営目線」を十分に反映した業務・システムのあるべき姿を策定。

02

現場のステークホルダーとの密なコミュニケーションにより、現場で起こっている実情や制約事項等を深く捉え、「現場目線」での意見・要望を経営にトスアップ。

03

共済業務についての深い知見を基にした仮説アプローチによる業務・システム両面からの調査・分析により、将来の業務を支えるシステムの在り方について、迅速に構想を立案。